



唐沢山…藤原秀郷公の居城趾で、深い歴史を持つ山

令和2年3月1日

第23号

発行 佐野市町長連合会
編集 会報編集部会

台風第19号災害からの復旧復興に向けて



令和元年台風第19号では、関東地方をはじめ各地に大雨特別警報が発表され、記録的な大雨をもたらしました。本市では、10月12日、秋山川の堤防決壊をはじめとする河川の氾濫や土砂災害等により、住宅・道路・橋梁・商業施設や工場等の事業所・農地・農林業用施設・社会福祉施設など市内の広範囲にわたり甚大な被害が発生しました。住宅等の浸水被害は床上浸水、床下浸水を合わせると3,781件（令和2年1月31日現在）にも及みました。

被災された多くの皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

この災害により被災され、ご自身では家屋内外の片付けが難しい方の支援を行うため、佐野市社会福祉協議会は、10月15日に「佐野市災害ボランティアセンター」を開設しました。ボランティアの活動者は、1月26日現在で約1万2千人であり、これは全国で3番目に多い人数となっています。しかしながら、災害ボランティアセンター開設当初は、平日のボランティアの活動者が不足していました。そこで、佐野市町長連合会では、被災された町会の皆様が一日でも早く安心した生活を取り戻せるよう、町会に呼びかけをし、ボランティア活動を実施しま

した。活動は、10月26日から12月8日までの44日間を行い、被災住宅の家具の搬出や床下に流入した土砂の撤去作業など、延べ520名の方にご協力をいただきました。ボランティアの活動者からは、「微力だが被災者の力になれて良かつた。活動を通して地域での助け合い、支え合いの大切さを実感した。」との声がありました。

活動にご協力いただいた皆様に対し、心よりお礼申し上げます。

佐野市町長連合会長

上岡 良雄 談

台風第19号により被災された多くの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本市では、周知のとおり秋山川の堤防決壊、旗川などの氾濫により家屋の全壊、農作物など資産損壊による甚大な被害を受けました。連合会では、各町会の協力をいただき1月26日より、町会5名のボランティアを募り、延べ520名のご支援をいただきました。復旧活動にご尽力されました町長さんをはじめ、多くの皆様に心より御礼申し上げます。

連合会としては、今後も、地域を代表する組織として、住民福祉向上に努めてまいります。

植野地区で 防災避難訓練を実施

平成30年11月に更新された市ハザードマップにより、植野地区の大部分が浸水想定区域に含まれていることが明らかになりました。そこで、植野地区コミュニティ推進協議会では、日頃から防災訓練を通じ、防災意識を高め、災害発生時の被害軽減を図ることが重要であると考え、令和元年5月に参加16町会で防災部会を設立しました。



令和元年度 各町会等の防災活動状況(4月~12月)

月	町会等
5月	堀米町(七区)町会 並木町(花岡)町会
6月	関川町防災会 梅園町防災会
7月	常盤地区 寺久保町防災会
8月	閑馬上町防災会 朝日町会
	飛駒地区公民館 若松町(城東)町会
9月	三好地区公民館
	栃木町自主防災会
	植野地区コミュニティ協議会
	新吉水町北町会自主防災会
	馬門町自主防災会

※佐野市危機管理課に出前講座等の依頼があったものを掲載しました。

※この他にも台風第19号の影響により中止とさせていただいた町会等があります。

台風第19号の影響により秋山川の決壊、旗川の越水など多くの河川が氾濫し、市内の広い範囲において浸水被害や橋梁の崩落、道路の陥没及び土砂災害などが発生しました。また、市内全域に対しても避難勧告等が発令され、最大4,217名の住民の方が避難されました。避難所敷地内の浸水や二次避難において、混乱などが生じました。

台風第19号の影響により秋山川の決壊、旗川の越水など多くの河川が氾濫し、市内の広い範囲において浸水被害や橋梁の崩落、道路の陥没及び土砂災害などが発生しました。また、市内全域に対しても避難勧告等が発令され、最大4,217名の住民の方が避難されました。避難所敷地内の浸水や二次避難において、混乱などが生じました。

そこで、令和元年12月中旬から本年2月中旬にかけて、台風第19号災害に伴う各地区と市との意見交換会が開催され、各地区の町会及び自主防災組織の役員の方などが出席し、「避難所の増設」や「二度避難について」など、活発な意見交換が行われました。今後、意見交換会の結果を踏まえ、避難に関する在り方について、所や避難に踏まえ、避難に見直しが行なわれることとなります。



らお年寄りまで約1,000人の住民が南中学校体育館へ避難しました。また、避難者を円滑に受け入れるため、避難者の誘導や受付などを担当する共助班を置いて実施しました。避難後は、各町会より訓練本部長に避難完了報告を行い、岡部市長をはじめ来賓から講評をいただいて訓練は無事終了しました。

た。

台風第19号災害に伴う 各地区との 意見交換会を開催

町会は地域において様々な役割を担っています！

●安全・安心な暮らしを守る活動

自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など

●親睦活動

お祭りの開催、子ども会、敬老会への協力など

●地域環境美化活動

清掃活動、ごみ集積所の維持管理など

●地域情報活動

回覧板や広報の配布による地域の情報伝達など

●地域福祉活動

子どもや高齢者の見守り活動など

町会へ加入しましょう！

防災の柱は、自分で自分の身を守る「自助」、地域でお互いに助け合う「共助」、消防、警察、市などの公的機関が支援する「公助」の3つといわれています。

平成7年の阪神・淡路大震災において一番多くの人命を救助したのは、地域の住民による「共助」でした。この「共助」による力が發揮されるのが町会です。

日頃から地域の人たちとコミュニケーションを取り、地域防災力の向上と安全・安心な暮らしのため、町会へ加入しましょう。



橋 飯 塚 小 高 吉
本 田 田 泉 瀬 泽
昭 賢 芳 久 成
壽 次 夫 二 人 洪
富 岡 町 (北 部)
犬 伏 新 町
大 祝 町
朝 曜 町
本 町 (佐 野)

【永年在職町会長10年表彰】
中 山 文 雄
【永年在職町会長5年表彰】
関 川 町



◇ 佐野市町会長連合会表彰
小 野 一 郎 堀 米 町
(内堀米)

長年にわたりて町会活動に貢献された方が、佐野市町会長連合会表彰、栃木県自治会活動功労者知事表彰、栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰をそれぞれ受賞しました。

(敬称略)

受賞おめでとうございます

大坂吉渡橋相 小井青寺丸柳玉 戸海尼桂島上横
橋井川邊本良澤上島内山田川 戸海尼桂島上横
正芳勲忠 啓哲立武君光章 戸海尼桂島上横
夫巳男夫雄学 郎男臣治江三吾 戸海尼桂島上横
堀米町 浅沼町 富岡町(南部) 関川町 伊勢山町
(内堀米)

【通算5年以上在職役員表彰】
小 野 青 柳 五 戸 尼 桂 島 上 横
島 木 澤 賀 叶 崎 田 植 修 一 清
勝 正 敬 幹 憲 倭 田 常 夫 忠
治 雄 一 正 一 治 佐 濑 一 清
飛駒2区 岩崎(田沼) 下町 黒袴町 鐘塚町 堀米町
上町東 吉水 本町 田之入町 佐瀬町 (菊川) (安良町下)
船越南 朝日町 石塚町(緑) 佐瀬町 (菊川) (安良町下)

大島 清 堀米町
島 田 常 夫 奈良渕町
土 椎 丈 勝 戸 榛 一 奈良渕町
澤 康 一 勝 佐 濑 一 奈良西
石 塚 緑 戸 奈良西
免 鳥 町 (免鳥) 戸 奈良西
石 塚 町 (緑) 戸 奈良西
奈 良 渕 町 (奈良渕)

◇ 栃木県自治会連合会会長研修大会

1月24日、栃木県自治会連合会
会長研修大会
(於 芳賀町民会館 ホール)

竹倉 持 勇 宏 堀米町(菊川)
澤持勇宏 堀米町(菊川)

◇ 栃木県自治会活動功労者知事表彰

1月24日、栃木県自治会連合会
会長研修大会

大島 清 堀米町(菊川)
島 田 常 夫 奈良渕町
土 椎 丈 勝 佐 濑 一 奈良渕町
澤 康 一 勝 佐 濑 一 奈良渕町
石 塚 緑 戸 奈良西
免 鳥 町 (免鳥) 戸 奈良西
石 塚 町 (緑) 戸 奈良西
奈 良 渕 町 (奈良渕)



◇ 栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

青 関 落 木 根 合 俊 光 勝 一
木 根 合 俊 光 勝 一
落 合 俊 光 勝 一
金屋仲町 金屋仲町

町会長の身分がかわります

臨時・非常勤職員制度の適切な運用を確保するための地方公務員法の改正により、令和2年4月1日から、町会長の皆様は、これまでの特別職の地方公務員ではなくなります。



浅沼町町会 上岡良雄町会長が、令和元年11月29日、総務省において、町会長として、長きにわたり良好な地域社会の維持及び形成に功績顕著な者であるとして、自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。

市民活動モデル町会の取り組み紹介

佐野市では、住民主体のより良い地域をつくるために、住民が主体となって取り組む元気な地域活動の募集を行い、採択となった町会を「モデル町会」として、助成金の交付、活動のPRなどの支援をしています。詳しくは、佐野市市民活動促進課までお問い合わせください。問合せ:佐野市市民活動促進課 Tel20-3812

梅園町会は、市の北西部に位置し、周りを山に囲まれた47世帯、人口145人の小さな町会です。町会の課題は、沢山あります。最近では、人口の減少により、田畠を耕作する人が減り、放棄地が増え、草刈りに費やす時間と労力を大変だと感じている人が多くなりました。そこで、放棄地をどのように維持管理したいかアンケートを実施したところ、菜の花畑にしたいとの希望が多くありました。その理由として、10月に種を蒔くと、3月から4月に花が咲き、6月に種取りをすると、7～9月までの3ヶ月程度の草刈りだけで、維持管理ができるということでした。景観も良くなり、猪や鹿等の鳥獣害対策にも効果的で、時間も労力も費用もあまりかかりません。すでに実験耕作した方にもご協力いただき、これらの利点の共通理解を図ったところ、多くの方の賛同を得ることができました。



こうして「菜の花プロジェクト」が始まりました。これまで種取りと種蒔きを行いました。春になり、小さな中山間地域の梅園で、菜の花畑が見られることがあります。



梅園町会

梅園菜の花 プロジェクト



獣害防止 対策事業



正雲寺町会

土澤 清一 町会長

正雲寺町会

土澤 清一 町会長

正雲寺町会

◆各種表彰を受賞された町会長、町会役員の皆様、おめでとうございます。日頃の諸活動のご尽力に対し、心より敬意を表します。今後とも更なるご活躍をお祈りします。

◆今回のからさわ第23号は、市民活動モデル町会の紹介をはじめ、昨年の台風第19号の被災地復興のための取り組みについてお知らせしました。

◆佐野市において、災害ボランティア活動は現在も継続して実施されています。いかに大きな災害であったか理解できます。近年、地球温暖化の進行に伴い、自然災害の発生頻度は増加傾向にあり、作業後は全員で昼食をとり、お互い労をねぎらい、散会しました。大きなトラブルも無く、作業を終了することができたことをうれしく思います。改めて参加者の皆様に感謝申し上げます。

◆佐野市は、皆様からの感想やご意見をお待ちしております。掲載してもらいたい内容や皆様の町会での活動状況などありましたらお寄せ願います。

◆からさわ第23号はいかがでしたか。編集部会では、皆様からの感想やご意見をお待ちしております。掲載してもらいたい内容や皆様の町会での活動状況などありましたらお寄せ願います。

編集後記

▼佐野市町長連合会は全域167町会で組織されています。
アドバイザー
塚田 久村
塚田 静夫
小林 久村
和純二
松崎 加藤
秀雄 忠雄
会員同士の親交親睦の醸成につながります。

発行責任者
編集部会長
発行者
佐野市町長連合会
〒307-8050
佐野市役所
6階
栃木県佐野市高砂町1番地
☎0283-20-3812